



えどがわ

予算特集号

新年度予算の主な新規・
拡充事業⇒2・3面
数字で見る令和2年度
予算⇒4面

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 🌐https://www.city.edogawa.tokyo.jp/

誰もが安心して暮らせる 共生社会の実現へ前進

令和2年度 予算編成に当たって

本区の財政を取り巻く状況は、これまでの行財政改革により全国トップレベルの健全な運営を堅持しているものの、景気の影響を受けやすい歳入構造や社会保障制度の安定を図る数多くの歳出需要など、引き続き予断を許さない状況が続いています。

今後、日本全体が超高齢社会、人口減少社会に直面していく中、老朽化が進む公共施設の再編・整備への対応や大規模災害への備えなど、区民の皆さんの生活基盤をしっかりと維持していくことを念頭に、財源の効果的活用と将来に向けて負担を先送りしない計画性・持続性のある予算編成を行いました。

これからも夢と希望あふれる未来を見据えて、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちづくりに全力を尽くしてまいります。



江戸川区長
齊藤 猛

4月からの1年間に区が行う事業と、その経費を定めた令和2年度の予算が決まりました。新年度予算の内容について、特集で紹介します。
☎区財政課 ☎5662-6148

江戸川区の予算規模

区 分	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	増減率	
一般会計	2664億2569万円	2471億7741万円	7.8%	
特別会計	国民健康保険事業	607億4645万円	618億9091万円	△1.8%
	介護保険事業	462億7224万円	451億3267万円	2.5%
	後期高齢者医療	136億7776万円	131億8280万円	3.8%
合計	3871億2213万円	3673億8380万円	5.4%	

※金額は単位未満を四捨五入。

令和2年度 予算編成3つのポイント

① 東京2020大会の成功とレガシーの構築

区民とともに東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を成功に導き、そのレガシーとして、人と人とのつながりや助け合いの心を育てていく事業を展開する。

② 誰もが安心して自分らしく暮らせるまちの実現

国が認める先導的共生社会ホストタウンとして、ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリーをさらに推進する施策を展開する。

③ SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み

本区が実施する事務事業を国際的な目標であるSDGsの17ゴールに分類し、重点施策を新規・拡充事業として展開する。

◎主な事業については2・3面をご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGs (持続可能な開発目標) は、自然保護やエネルギー問題、気候変動などを解決し、持続可能な社会をつくるために世界が合意した開発目標です。

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースhipで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です



区では、今後の持続可能な区政の実現に向けて、
令和2年度の新規・拡充事業について
SDGsの17のゴールとの関連性を見える化しました。

今回の特集では、予算編成の大きな3つの視点、
「東京2020大会の成功とレガシーの構築」、
「誰もが安心して自分らしく暮らせるまちの実現」、
「SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み」を柱に、
主な新規・拡充事業をお知らせします。

※金額は表示単位未満を四捨五入しています。

☎ 区財政課 ☎ 5662-6148

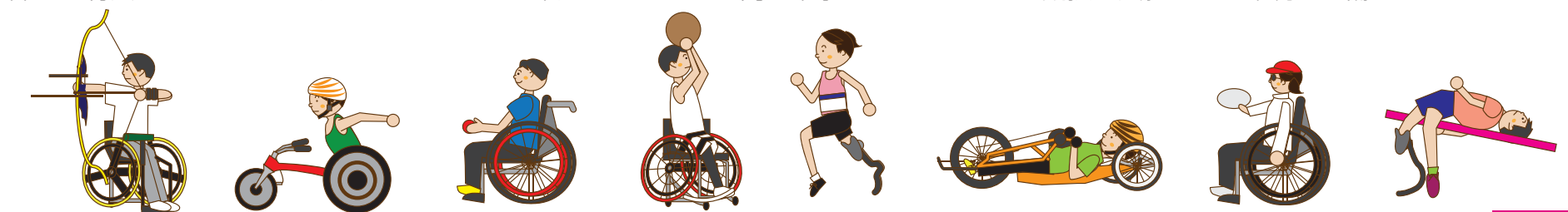


区ホームページでは、令和2年度予算について詳しく掲載しています。



全国初 東京パラリンピック22競技“できる”宣言! 1332万円

障害の有無などにかかわらず誰もがスポーツに親しめるよう、区内に東京パラリンピック22競技が実施できる環境を整備



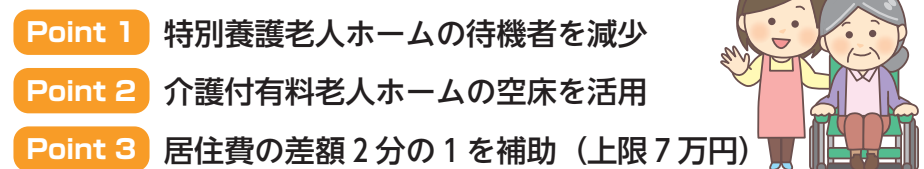
えどがわスポーツコンシェルジュ 223万円

区民の「スポーツをしたい!」という思いに応えるコンシェルジュが誕生



全国初 特別養護老人ホーム待機者解消対策 3364万円

特別養護老人ホームの待機者解消のため、介護付有料老人ホームの空床を活用し、待機者に対し特別養護老人ホームと有料老人ホームの居住費の差額の2分の1を補助



学校施設の改築 116億9895万円

東小松川小学校、大杉東小学校、上小岩小学校、二之江小学校、南小岩小学校、篠崎小学校、小岩小学校、小岩第二中学校、小松川・平井地域中学統合校、瑞江第三中学校を改築



全国初 長期育休支援補助 3500万円

国の育休制度に上乗せして2歳以降の育休を可能にするため、区内中小企業とその従業員を支援し、子育てしやすい環境を整備

- 区内中小企業に
- 代替従業員確保に係る求人広告費の2分の1を補助
 - 育休者と代替従業員の賃金差の2分の1を補助
- 区内中小企業で働く区民に
- 2歳以降も育児休業給付金と同水準の支援金を支給

児童相談所の開設 46億9586万円

23区として初の児童相談所を設置。地域に開かれた児童相談所として、窓口・支援対応・指揮系統の3つの一元化を実現



介護・福祉人材緊急確保・定着奨励金 4014万円

人材の確保・定着を促進するため、区内の同一の介護・障害福祉サービス事業所で3年間就労を継続した常勤の介護職員などに対し、年額10万円の奨励金を交付

- Point 1 継続就労者に奨励金を支給
Point 2 区内で働く魅力を高め人材の確保・定着に
Point 3 介護・障害福祉サービスを安定的に供給



子ども朝ごはん食堂 68万円

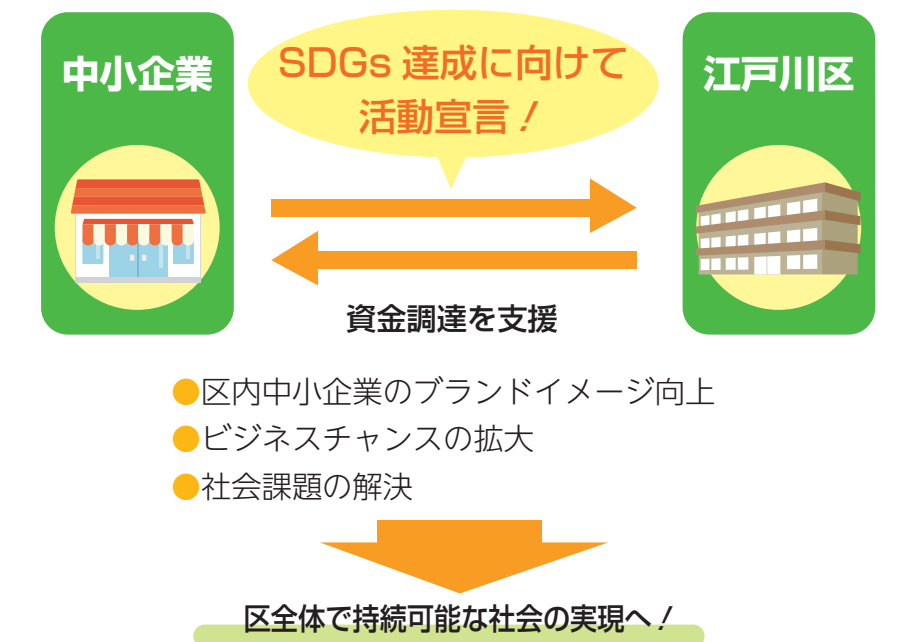
子どもたちが自ら調理する力を身に付けるため、小学校で始業前に地域ボランティアと共に、おにぎりなどの朝ごはんを作って食べ自立を目指した食育を推進

- Point 1 子ども自身が調理できる力を育む
Point 2 身近な大人や地域社会との共食・交流の場
Point 3 災害時に機能する地域コミュニティの育成



SDGs活動企業支援融資 1012万円

SDGsの達成に向けた活動を宣言する企業に対して融資をあっせんし、利子補給・信用保証料の補助を実施



保育士等確保・定着報奨金 4000万円

区内私立保育施設・幼稚園で働く魅力を高め、継続した勤務につながるため、勤続5年ごとに報奨金を支給



放課後補習教室 1億6671万円

学習に不安を抱える児童・生徒を対象に、民間やNPO法人などによる補習教室を開催し、基礎・基本の定着や学習習慣の確立など主体的に学ぶ資質・能力を育成

- Point 1 真に必要な子どもたちへ学習環境を確保
Point 2 校内で行うことで学校(担任)と連携
Point 3 外部人材を活用し、個に応じた学習支援

えどがわ文化コンシェルジュ 88万円

「何かをやってみたい!」という区民に合った文化活動を紹介

- Point 1 総合文化センター、タワーホール船堀、グリーンパレスの窓口で情報提供
Point 2 ITを活用したマッチングシステムを構築

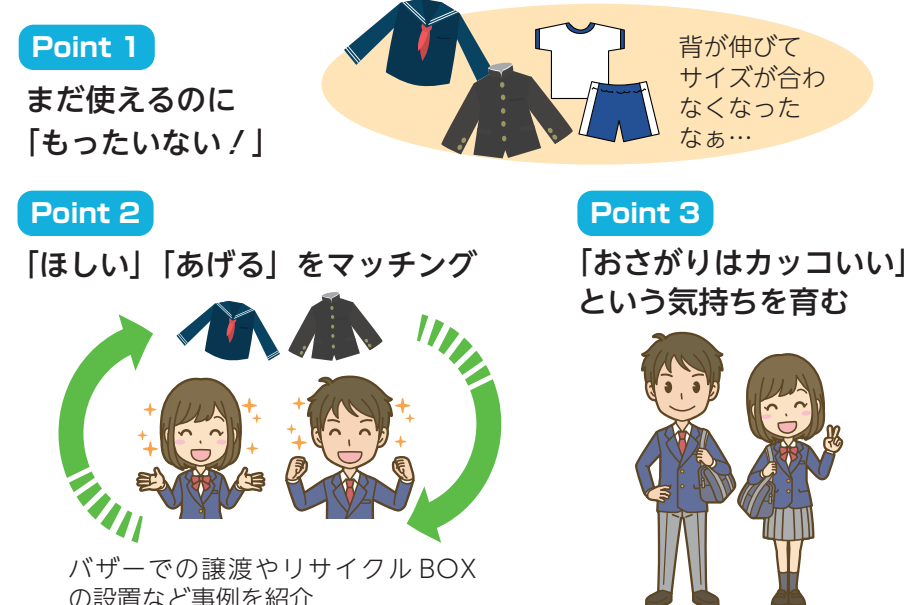
えどがわアートプロジェクト 50万円

区施設に展示されている美術作品を調査・整理してインターネット上で公開し、作品の閲覧を可能に

- Point 1 区内美術作品をWeb上で鑑賞できる「デジタル美術館」を公開
Point 2 区内を巡りながら美術鑑賞ができる「散策マップ」を作成

区内公立中学校の制服等リユース

ごみ減量や資源リサイクルの観点から各中学校での制服や体操服などの譲渡の取り組みを支援。各学校のバザーなどで実施されている制服譲渡の活動を、区内全中学校(33校)に拡大





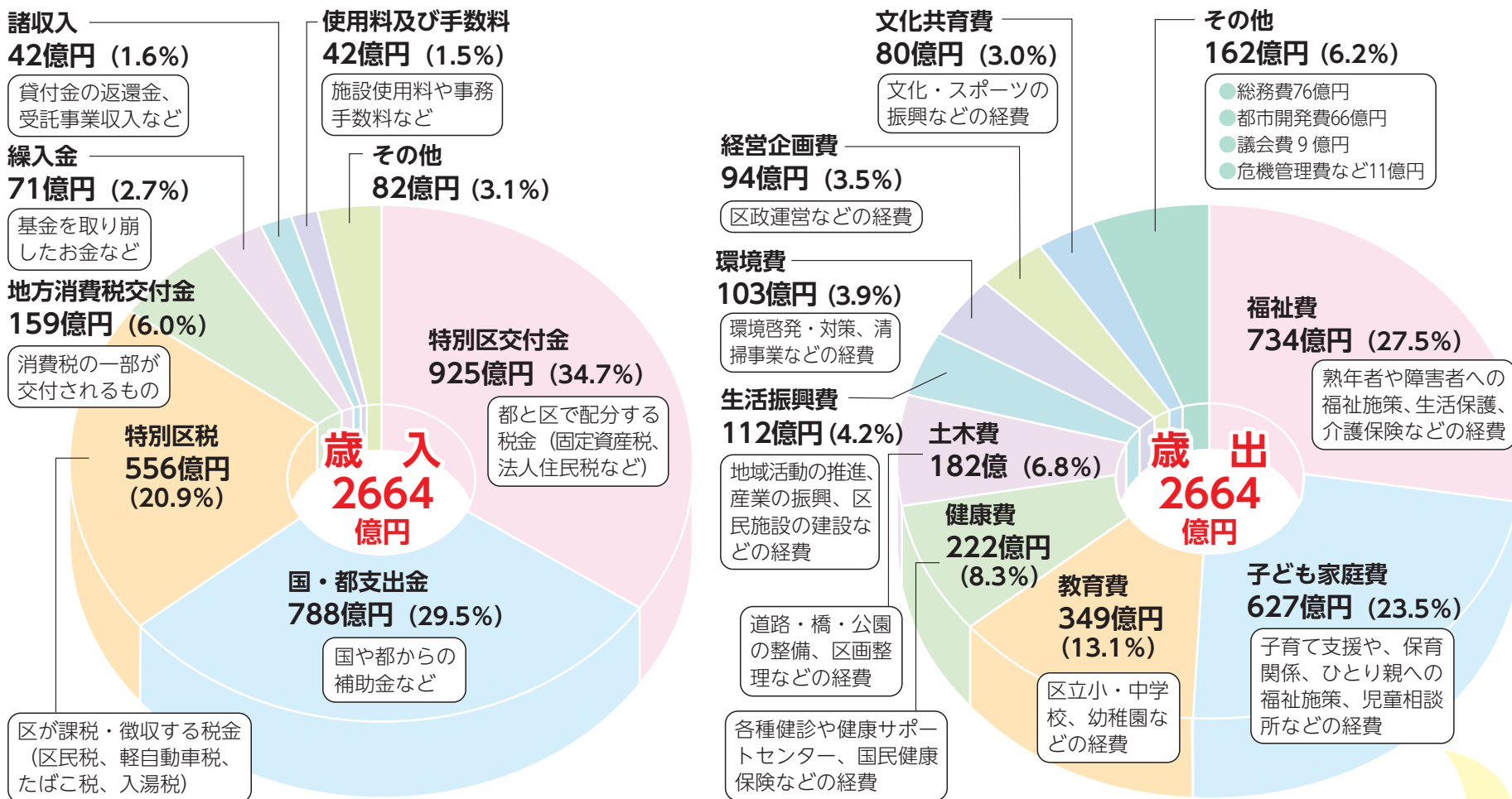
数字で見る 令和2年度予算

区では、区民の皆さんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結するさまざまな施策を行っています。限られた貴重な財源を、区民サービス向上のため、有効かつ適切に活用していきます。

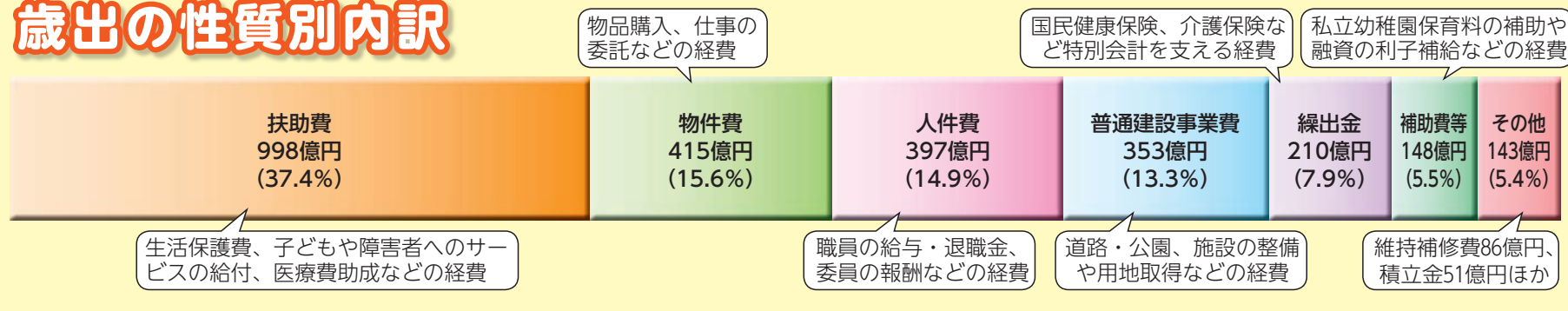
☎財政課 ☎5662-6148

一般会計の内訳

※金額は原則、表示単位未満を四捨五入しているため、合計など一致しないことがあります。構成比は千円単位での比率です。



歳出の性質別内訳



一般会計予算額を1万円に換算すると・・・

